

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-197135

(43)Date of publication of application : 14.07.2000

(51)Int.Cl.

H04Q 7/38

H04M 1/00

(21)Application number : 10-371130

(71)Applicant : KYOCERA CORP

(22)Date of filing : 25.12.1998

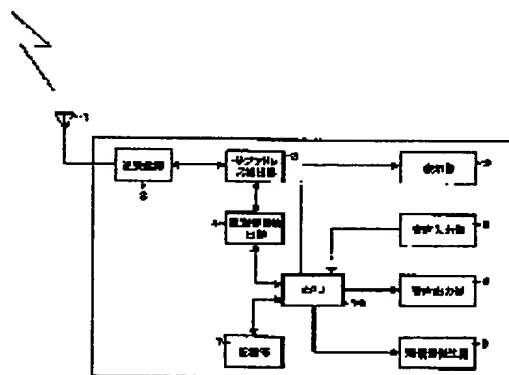
(72)Inventor : WATANABE TAKASHI

## (54) PORTABLE TELEPHONE SET

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To quickly judge who is the caller of the present telephone call by transmitting a calling signal by superimposing stored voice information fetched by a voice inputting means on a sub-address included in the calling signal.

SOLUTION: When a calling signal from a calling terminal is received by a receiving part 2, a sub-address detecting part 3 detects whether or not information is included in the sub-address of the calling signal. At the same time, an identification information detecting means 4 detects the identification information of the caller from the calling signal. Then, the sub-address detecting part 3 detects the voice information included in the sub-address of the calling signal, and stores this voice information and the caller identification information in a storage part 7 by making them correspond to each other. Then, an incoming terminal which receives the calling signal detects the identification information of the caller from an identification information means 4. Then, the CPU 10 reads the corresponding incoming voice from the storage part 7. The read incoming sound is transmitted to an incoming sound generating part 8 so that the incoming sound corresponding to the caller can be announced and the incoming information including the identification of the caller can be communicated to a subscriber at the incoming side.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

08.08.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-197135  
(P2000-197135A)

(43) 公開日 平成12年7月14日 (2000.7.14)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 K 5 K 0 2 7
H 0 4 M 1/00		H 0 4 M 1/00	K 5 K 0 6 7
		H 0 4 B 7/26	1 0 9 L

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-371130

(22) 出願日 平成10年12月25日 (1998. 12. 25)

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田烏羽殿町 6 番地

(72) 発明者 渡邊 隆史

神奈川県横浜市都筑区加賀原 2 丁目 1 番 1

号 京セラ株式会社横浜事業所内

F ターム (参考) 5K027 AA11 BB04 EE15 FF03 FF25

HH23

5K067 AA34 BB04 DD17 DD23 DD54

FF25 FF31 GG01 GG11 HH22

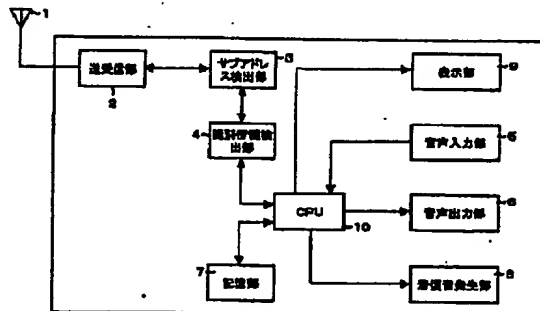
HH23

(54) 【発明の名称】 携帯電話機

(57) 【要約】

【課題】 発呼者からの呼び出しに対して報知する着信音を発呼者の音声等で報知することで発呼者を識別できる携帯電話機を提供することを目的とする。

【解決手段】 着信を報知する報知手段と、発呼側の識別情報を検出する識別情報検出手段と、音声情報が含まれているかを検出するサブアドレス検出手段と、音声情報を前記発呼側の識別情報に対応する着信音として記憶する記憶手段と、発呼側からの着信に対して発呼側の識別情報に対応した着信音を報知制御する制御手段と、を具備したことを特徴とする携帯電話機。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 発呼信号に含まれるサブアドレスに情報をのせて発呼側と着呼側で情報のやり取りが可能な携帯電話機において、

周囲の音や音声を取込む音声入力手段と、  
該音声入力手段により取込まれた音声情報を記憶する記憶手段と、

該記憶手段に記憶している前記音声入力手段で取込まれた音声情報を発呼信号に含まれるサブアドレスにのせて前記発呼信号を伝送する伝送手段と、  
を具備したことを特徴とする携帯電話機。

【請求項2】 発呼信号に含まれるサブアドレスに情報をのせて発呼側と着呼側で情報のやり取りが可能な携帯電話機において、

発呼側からの発呼信号を受けて着信を報知する報知手段と、

前記発呼信号から発呼側の識別情報を検出する識別情報検出手段と、

前記発呼信号に含まれるサブアドレスに音声情報が含まれているかを検出するサブアドレス検出手段と、

該サブアドレス検出手段が音声情報を検出した場合、該音声情報を前記発呼側の識別情報に対応する着信音として記憶する記憶手段と、

前記発呼側からの着信に対して、前記発呼側の識別情報に対応した着信音を記憶手段から読み出し前記報知手段を用いて前記着信音を報知するように制御する制御手段と、

を具備したことを特徴とする携帯電話機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯電話機の着信報知手段に関し、特に発呼者の音声を着呼側の端末で報知して発呼者の識別を行う技術に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来の携帯電話機では、電話をかけてきた相手（発呼者）を着呼側の端末で識別する手段として、発呼者から通知される発番号（発呼者の電話番号）を着呼側端末の液晶表示部に表示したり、又、着呼側の端末に記憶しているこの発番号に対応した名前を表示することによって識別できるようになっていた。又、着信があったときに報知する着信音は、所有者が録音した音、作曲した音、携帯電話機が内蔵している音の中から少なくとも1つを設定して用いていた。更に、発信者が通知する発番号を利用してかかってきた発呼者ごとに異なる着信音を使い分けるように設定できるものもあった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の方法では、発呼者が発番号を通知しなければ着信側で発呼者を識別することが出来なかった。又、発呼者か

ら発番号が通知されても、着呼側の端末に発呼者の電話番号を記憶していない人からの着信に対しては発番号に対応して名前等を記憶していないので液晶表示部に発呼者の名前を表示することはできず、発呼者を特定することは出来なかった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために請求項1記載の携帯電話機は、発呼信号に含まれるサブアドレスに情報をのせて発呼側と着呼側で情報のやり取りが可能な携帯電話機において、周囲の音や音声を取込む音声入力手段と、該音声入力手段により取込まれた音声情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶している前記音声入力手段で取込まれた音声情報を発呼信号に含まれるサブアドレスにのせて前記発呼信号を伝送する伝送手段と、を具備したことを特徴とする。

【0005】 また、請求項2記載の携帯電話機は、発呼信号に含まれるサブアドレスに情報をのせて発呼側と着呼側で情報のやり取りが可能な携帯電話機において、発呼側からの発呼信号を受けて着信を報知する報知手段と、前記発呼信号から発呼側の識別情報を検出する識別情報検出手段と、前記発呼信号に含まれるサブアドレスに音声情報が含まれているかを検出するサブアドレス検出手段と、該サブアドレス検出手段が音声情報を検出した場合、該音声情報を前記発呼側の識別情報に対応する着信音として記憶する記憶手段と、前記発呼側からの着信に対して、前記発呼側の識別情報に対応した着信音を記憶手段から読み出し前記報知手段を用いて前記着信音を報知するように制御する制御手段と、を具備したことを特徴とする。

## 【0006】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の一実施例に基づいて図を用いて説明する。尚、同一の構成を示す箇所は同一の符号を用いている。図1は、本発明に係る携帯電話機の一実施例を示すブロック図である。図1の構成部を示す各符号は、1はアンテナ、2は無線信号の送信／受信を行う送受信部、3は送受信部2が受信した無線信号に含まれているサブアドレスを検出するサブアドレス検出部、4は受信した無線信号に含まれている発呼者の識別情報（電話番号等）を検出する識別情報検出手段、5はマイクロフォンの様に周囲の音や音声を取込んで電気的信号に変換する音声入力部、6はスピーカの様に電気的信号の音声情報を実際の音として出力する音声出力部、7は電話番号や着信音等のデータを記憶している記憶部、8は着信時にこの着信音を音で報知する着信音発生部、9は電話番号や機能設定メニュー等を表示する表示部、10は着信信号に含まれた電話番号に対応する名前等のデータを記憶部7から読み出して表示部9に表示する制御、サブアドレスにデータをのせる制御、着信音を設定する制御等を行うCPU、を示す。

【0007】 次に、図1を用いて動作の説明をする。先

ず、発呼側の端末が着信音を作成して、その着信音をサブアドレスに含ませて発呼するまでの説明をする。発呼者は、着信側端末に送信する着信音を音声入力部5から取込んで、この取込んだ音声を音声情報として一旦記憶部7に記憶しておく。そして、送信したい相手に発呼操作を行う中で、CPU10は上記取込んで記憶している音声情報を発呼信号のサブアドレス領域に含ませる。そして、送受信部2はアンテナ1を介してこの音声情報を含んだ発呼信号を送信する。

【0008】次に、発呼端末から送信された音声情報を取出して記憶しておく動作を説明する。発呼端末から発呼信号をアンテナ1を介して送受信部2で受信すると、サブアドレス検出部3は発呼信号のサブアドレスに情報が含まれているか検出をする。又、これと同時に識別情報検出手段4は発呼信号から発呼者の識別情報を検出する。そして、サブアドレス検出部3が発呼信号のサブアドレスに音声情報を検出した場合、この音声情報と発呼者識別情報を対応させて記憶部6に記憶しておく。

【0009】次に、発呼信号を受けた着信側の着信報知動作を説明する。発呼信号を受信した着信側は、識別情報手段4から発呼者の識別情報を検出する。そして、CPU10はこの発呼者識別情報に従って対応する着信音を記憶部7から読み出す。読み出された着信音はCPU10の制御に従って着信音発生部8から発呼者に対応する着信音を報知して着信側の加入者に発呼者の識別を含んだ着信を知らせる。

【0010】図2は、発呼者が着信音を送信して通話を行う迄の発呼側の動作フローチャートを示す。まず、発呼者は発呼をする前に着呼側の着信音を作成するために着信音声（前記着信音を音声とした場合）の録音を始める（ステップ101）。着信音声を作成するとこの着信音声をデータとして発呼信号のサブアドレスに含ませて発呼する（ステップ102）。その後は、着呼側が応答するまでサブアドレスに含ませた着信音声でもって着信側を呼び出す（ステップ103）。そして、着呼側が着呼に対して応答すると通話を行う（104）。

【0011】図3は、発呼者からの呼び出しを受けて通話を行う迄の着呼側の動作フローチャートを示す。発呼側から着信を受けると、送られてきたデータを受信する（ステップ201）。このデータに音声等により作成さ

れた着信音があれば（ステップ202）、この着信音を記憶するとともに同時に着信音として設定する（ステップ203）。そして、ステップ203の設定に従って送信された着信音（音声等）を鳴動して着信の旨を報知する（ステップ204）。そして、この着信音により発呼者を識別して応答することで通話が始まる（ステップ205）。

【0012】又、図2及び図3のフローチャートは簡単に動作を説明するため省略している動作もある。

【0013】

【発明の効果】以上の構成により、本発明の携帯電話機を用いれば、発呼側端末は自分の音声又は発呼者を識別できる音を発呼信号に付加して着呼側端末に送信でき、且つ、着呼側の端末は送られてきた発呼者を識別できる音を着信を報知する着信音に設定して鳴動する様に構成したので、着信側の端末は発呼者の音声等で着信を報知する為、今かかっている電話の着信が誰なのかを素早く判断できる。これにより、今すぐに出たくない相手、絶対に話したくない相手を音（音声）で判断する事ができ、又、携帯電話機から離れた場所からでも発呼者を識別できるといった効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る携帯電話機の一実施例を示すブロック図。

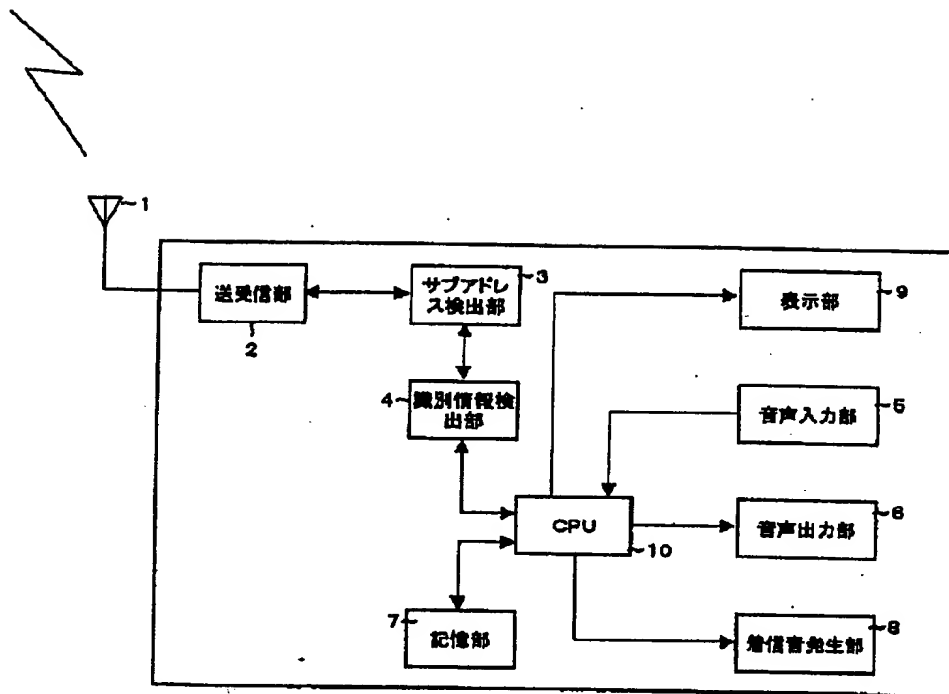
【図2】発呼者が着信音を送信して通話を行う迄の発呼側の動作フローチャート。

【図3】発呼者からの呼び出しを受けて通話を行う迄の着呼側の動作フローチャート。

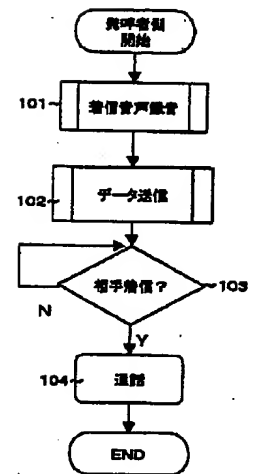
【符号の説明】

- 1：アンテナ
- 2：送受信部
- 3：サブアドレス検出部
- 4：識別情報検出手段
- 5：音声入力部
- 6：音声出力部
- 7：記憶部
- 8：着信音発生部
- 9：表示部
- 10：CPU

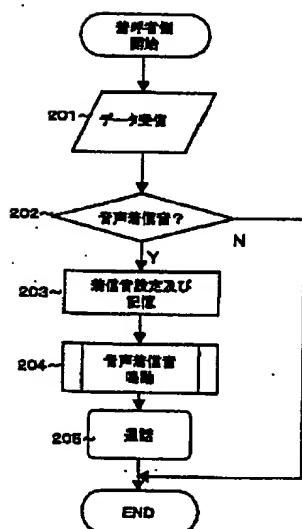
【図1】



【図2】



【図3】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**